



## CREATE HOPE in the WORLD 世界に希望を生み出そう



世界に希望を生み出そう

2023-24 年度国際ロータリー会長  
ゴードン R. マッキナリー  
サウスクイーンズフェリーRC (スコットランド)

私達は、絶妙なタイミングでリーダーシップの手綱を渡されました。今は歴史的な時であり、ロータリーが世界の注目を集め、現在の期待をはるかに超えた可能性への道を示す機会が訪れています。しかし私達の最も優れた仕事のいくつかは、他の人達の継続的な取り組みをサポートすることであるかもしれません。全てのロータリーリーダーの仕事の多くにおいては、継続が重要となります。継続とは、以前のリーダーたちのよいアイデアを前進させることを意味します。

過去数年間、ローターアクトに力を与えると約束し、それを実行してきたことで、ローターアクターたちは全面的なパートナーとなるだけでなく、リーダーとなる熱意を示すことで、私達を勇気づけています。

継続のもう一つの優れた例に、女兒のエンパワメントがあります。世界中の少女が強く、十分な能力を身につけた女性へと成長できるよう支援するために、この仕事を引き継いでいきます。

私はまた、多様性、公平さ、インクルージョン(DEI)を促進するためにロータリーが遂げてきた全ての進歩を全面的にサポートしたいと考えています。DEIを全面的にサポートすることは、単に会員数を増やすことを意味するわけではありません。DEIの最も重要な側面は、ロータリーを、最高の人材、最高のアイデア、最高のパートナーシップを受け入れるオープンでインクルーシブな組織にすることです。

継続には、他にも2つのテーマがあり、これらは皆さんの活動にとって極めて重要となります。ひとつめがポリオです。ポリオの根絶は依然としてロータリーの最優先事項です。「ポリオのない世界」という夢を追い続け、多くのことを成し遂げてきたこの35年間を、私達は誇りとすることができます。ビル&メリンダ・ゲイツ財団からの上乗せを全額得るために最低5,000万ドルを集めることがいかに重要であるかを毎年繰り返し言われたら、疲れるのも無理もないと承知しています。今、私達に必要なのは、さらなる挑戦かもしれません。現在、ポリオ根絶キャンペーンに寄付しているロータリー会員は約12人に1人に過ぎず、毎年寄付しているクラブも5分の1を下回っています。

行動計画のうち、皆さん全員に暗記してほしいと思う部分があります。それは以下のビジョン声明です。「私達は、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています」。行動計画を受け入れ、実行するための現実的な方法をクラブに提供することこそが、地域社会で持続可能な変化を生む最善の方法です。

このビジョンを実現させる二つの具体的で有望な方法に重点を置きたいと考えています。

ひとつは、平和にさらなる主眼を置くことです。ロータリーを創始し、築いてきた先人たちは、ロシアが始めた残忍な戦争に直面するウクライナの人びとのために過去1年間に私達が行ってきた懸命な支援活動を、きっと誇りに思うでしょう。ウクライナで大勢が入会し続けていることは、入会と会員の参加促進について大切なことを示唆しています。しかし、ウクライナ人にとってもロシア人にとっても、平和が実現するまでは本当の安らぎは訪れないことは明らかです。同じことが、イエメン、アフガニスタン、シリア、そして世界の数十の紛争地域にも当てはまります。

平和とは、希望が根づくための土壌です。

ロータリーでは、平和は受動的な夢ではなく、懸命な活動、築かれた信頼、そしてしばしば難しい対話の結果として生まれるものです。平和は粘り強く、勇敢に実践しなければなりません。人類が立てることのできる最も勇敢な目標は、平和の追求です。ロータリーでは、全ての重点分野にわたる全活動が、希望を築く一助となり、それによって平和と償いが可能となります。

2006年、私はタイのバーン・タリングチャン村を訪れた時、2004年末の津波で夫、娘、息子を失った女性から美しい貝殻をもらいました。彼女は、地域社会を建て直すロータリーの活動のおかげで前向きな気持ちを取り戻し、希望が与えられたと言いました。また、私は長年その作品を愛し、収集してきたスコットランドの最も偉大なアーティストの一人、ジョン・ロウリー・モリソンさんがよく使う色を選んで、世界の色を反映させ、次年度にロータリーが注力すべきことを反映させたいと思いました。このタイの女性との思い出と選んだ色から、私はテーマが何であるべきかに気づき、2023-24年度テーマは「世界に希望を生み出そう」としました。

新型コロナウイルス流行の結果として、これまで以上に多くの人々が傷ついています。多くの方が身近な人を失ったり、社会的つながりを断たれたりしています。分裂が広がり、つながる機会が失われています。最も傷ついている世代のひとつが、教育や対人スキルを身につける機会が妨げられた子どもや若者です。さらに悪いことに、世界の多くの地域では、助けを求め、特にメンタルヘルスの助けを求め、弱さであると考えられています。しかし、助けを求め、助けを求めることは勇気ある行動であり、幸せへの道を求めることは、さらに勇気が要ることです。

次年度の私達の計画は、世界に平和にもたらし、紛争の影響を受けた人々を癒すこと、そして、私達自身の内面的な闘いと向き合うために、お互いと地域社会を支え、助けを求め、ことに対する社会的な偏見をなくすことです。

これらの活動全てにおける目標は、破壊的な紛争から世界が立ち直れるように、希望を取り戻すことです。そうすれば、私達自身のために持続可能な変化をもたらすことが可能となります。ロータリーは、平和、機会、生きる価値ある未来の土台を築いています。私達が得意とすることを継続すると同時に、変化に対してオープンで前向きになり、世界と自分自身の中に平和を築くことに力を注げば、ロータリーはより平和で、より希望のある世界を築く手助けができます。

(2023/1/9、ゴードン R.マッキナリー氏テーマ講演より抜粋)

2023～2024 年度 国際ロータリー会長

## ゴードン R. マッキナリー 氏 略歴

South Queensferry ロータリークラブ所属 (スコットランド ウェストロージアン)

エディンバラの王立高校とダンディー大学で学び、口腔外科の大学院学位取得。2016 年までエディンバラで自身の歯科医院を経営。英国小児歯科学協会のスコットランド東部支部会長を務めたほか、さまざまな教育的役職を歴任。また、長老会のリーダー、クイーンズフェリー教区会衆派教会理事会の会長、スコットランド国教会総会のコミッショナーも務めた。

1984 年、26 歳でロータリーに入会。South Queensferry (サウス・クイーンズフェリー) ロータリークラブに所属し、グレートブリテンおよびアイルランドの国際ロータリー (RIBI) の会長と副会長、RI の理事と委員会メンバー (2022 年ヒューストン国際大会委員会アドバイザー、運営審査委員長など) を務めた。

新しいロータリークラブやグループを築くために会員と協力できるのを楽しみにしており、「私のビジョンは、ロータリーの仲間になりたいと思うすべての人、世界でよいことをしたいと願うすべての人が、それぞれに合った方法でどこでも参加できるロータリーとなること」と話す。英国を拠点とする非営利団体「ホープ・アンド・ホーム・フォー・チルドレン」の後援者であり、同団体と RIBI とのパートナーシップを先導して、ルワンダ大虐殺によって孤児となった子どもたちを支援。開発途上国の人びとや家族、ビジネスに持続可能な人道支援を提供する Grantham Kesteven ロータリークラブ (英国リンカンシャー) のイニシアチブ「Trade-Aid」も後援しているほか、国立の精神保健機関である Bipolar UK のアンバサダーを務めている。

趣味はラグビー、グルメとワイン、スコットランドの伝統的な杖づくり。

ロータリー財団は「ロータリーの奉仕を動かす燃料」であるとし、妻ヘザーさん (ロータリアン) とともにポール・ハリス・フェロー、メジャードナー、ロータリー財団のベネファクター、遺贈友の会会員となっている。

孫娘たち (アイビーさん、フロレンスさん) が幸せに暮らせるより良い世界をつくるために、会長として全力を捧げたいと考えている。

## 2023-24 年度会長イニシアチブ

### **メンタルヘルスの優先**

精神疾患や心の健康は話づらいトピックだと感じるかもしれませんが、国際社会で人が幸福に生きるには大切なことです。このような問題に取り組むための安全な環境を作るとは、私たちと関わるすべての人を歓迎し、公平で、インクルーシブな環境につながります。

ゴードン氏は、2023-24 年度に以下のような活動を行うことをクラブと地区に奨励しています。

- ・心の健康の話題に伴うスティグマの解消
- ・メンタルヘルスのニーズに関する認識の向上
- ・メンタルヘルスの支援や治療へのアクセス改善

### **バーチャル交流を通じた平和構築**

ロータリーは、人と人とのつながりを生かして平和のために活動してきた長い歴史がありますが、新型コロナウイルスの流行により、直接顔を合わせて活動することが困難になっています。コロナ禍を通じて学んだことをヒントに、ゴードン氏は、より多くのプログラム、行事、活動にバーチャルの要素を取り入れることを地区に奨励しています。テクノロジーを活用してつながりを作ることで、より多くの人にロータリーを体験する機会を提供できます。

2023-24 年度、ロータリー青少年交換、新世代交換、ロータリー友情交換、その他のプログラムにおいて、これらの要素を追加または維持することには、次のような利点があります。

- ・会員や参加者が異文化を体験し、新しい友人を作り、国際的な認識を深めるための新しい方法を提供する。
- ・時間、健康、または経済的な理由で入会が困難な人に、参加への道を開く。
- ・異文化間のコミュニケーションと理解を深め、より安定した平和な地域社会を実現する。

### **女兒のエンパワメント**

シェカール・メータ 2021-22 年度会長が立ち上げ、ジェニファー・ジョーンズ 2022-23 年度会長が継続した、世界中の女兒と女性のエンパワメントに焦点を当てた取り組みを、ゴードン氏も継続します。女兒の健康、福祉、教育、経済的安定を向上させる活動を続けることが会員に奨励されています。